

平成27年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成26年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社
 コード番号 2712 URL <http://www.starbucks.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役最高経営責任者(CEO) (氏名) 関根 純
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 戦略・ファイナンス・サプライチェーン担当 (氏名) 北川 徹

TEL 03-5745-5577

四半期報告書提出予定日 平成26年11月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	70,006	9.9	8,870	20.3	8,920	20.1	5,392	24.4
26年3月期第2四半期	63,673	10.3	7,375	28.6	7,426	27.4	4,333	34.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	37.39	37.35
26年3月期第2四半期	30.09	30.02

(注)当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	76,517	50,053	65.4	347.06
26年3月期	71,537	46,777	65.4	324.50

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 50,053百万円 26年3月期 46,777百万円

(注)当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、1株当たり純資産額は、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期		0.00		15.00	15.00
27年3月期		0.00			
27年3月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年3月期の期末配当15円00銭の内訳は、普通配当10円00銭及び1,000店舗記念配当5円00銭であります。

3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	137,700	9.6	13,050	19.2	13,150	19.6	7,700	28.4	53.39

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
詳細は、添付資料3ページ'2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	144,221,700 株	26年3月期	144,151,600 株
----------	---------------	--------	---------------

期末自己株式数

27年3月期2Q		26年3月期	
----------	--	--------	--

期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	144,203,798 株	26年3月期2Q	144,034,311 株
----------	---------------	----------	---------------

(注)当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、株式数は、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点におきまして、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・平成26年9月11日に公表いたしました業績予想は、本資料において修正しておりません。
・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、リスクや不確実性を内包しております。したがって、個人消費の動向や経済環境などの諸要因の変化により、実際の業績等は記載内容と異なる可能性があることを予めご承知おきください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
4. 補足情報	7
(1) 当社株式等に対する第二回公開買付けについて	7
(2) 生産、受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動が危惧されたものの、昨年度からの緩やかな景気回復基調が持続いたしました。

しかし、当該影響に加えて天候不順も重なったことなどにより、足元の個人消費は一部で弱い動きも見られ、先行きは依然不透明な状況で推移しております。

このような環境の下、当社は次のような事業展開を行いました。

当社の強み及び特長であります「最高のコーヒー」「くつろげる空間」「パートナーによる魅力的なサービス」を生かした「サードプレイス(お客様の職場と家庭との間にあって、いつでも安心してくつろげる第三の場所)」の提供を一層強化し、ブランドの差別化に努めました。

商品につきましては、フラペチーノ®の販売が大きく伸張し、売上を牽引いたしました。これは、日本で開発された「ストロベリー ディライト フラペチーノ®」や「チョコレート ブラウニー 抹茶 クリーム フラペチーノ®」などの期間限定フラペチーノ®が大変ご好評いただいたこと等によるものであります。

店舗展開につきましては、出店強化を続けるドライブスルー店舗を中心として、19店舗の新規出店(うちライセンス2店舗)、5店舗の退店(いずれも直営店)を行い、当第2四半期累計期間末における店舗数は1,050店舗(うちライセンス50店舗)となりました。

また、既存店舗につきましても、環境の変化に応じた空間作り注力し、活性化や収益性の向上につながるリモデル投資等を継続的に進めました。

以上の活動の結果、売上高は70,006百万円(前年同期比9.9%増)となりました。既存店売上高が対前年同期比4.3%増加したことに加え、継続的な新規出店や「Starbucks Online Store」及び「Starbucks e-Gift」等の前事業年度からの新たなサービスの展開などにより全体でも増収となりました。

売上総利益は52,452百万円(同10.1%増)と、前年同四半期累計期間に比べて4,822百万円の増益となり、売上総利益率は74.9%(同0.1ポイント増)となりました。これは売上原価に関しまして、原材料の価格下落による原価率の低下等によるものであります。

営業利益は8,870百万円(同20.3%増)と、前年同四半期累計期間に比べて1,494百万円の増益となりました。これは売上総利益の増加に加え、継続的な経費コントロールなどにより、販売費及び一般管理費率が62.3%(同0.9ポイント減)となったことによるものであります。

経常利益は8,920百万円(同20.1%増)と、前年同四半期累計期間に比べて1,494百万円の増益、四半期純利益は5,392百万円(同24.4%増)と、前年同四半期累計期間に比べて1,059百万円の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べて4,979百万円増加して76,517百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べて2,889百万円増加いたしました。これは、主に現金及び預金が892百万円及び譲渡性預金から成る有価証券が1,500百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べて2,090百万円増加いたしました。これは、主に新規出店及び既存店の改装のための投資により有形固定資産が1,338百万円、スターバックス カードの前受金残高に対応する金銭信託が400百万円増加したことによるものであります。

流動負債及び固定負債は、前事業年度末に比べて1,703百万円増加いたしました。これは、主に未払金の支払いに伴う減少があったものの、未払消費税等が1,068百万円増加したことなどによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」といいます。)は、前事業年度末に比べて2,392百万円増加し、23,023百万円となりました。

営業活動による資金の増加は、9,247百万円(前年同期差1,270百万円増)となりました。これは、主に法人税等の支払いが917百万円増加したものの、税引前四半期純利益が1,397百万円増加したことや、未払消費税等を始めたその他が1,248百万円増加したことによるものであります。

投資活動の結果使用した資金は、4,722百万円(同517百万円増)となりました。これは主に、前事業年度は、サポートセンター(本社)移転に伴う旧入居ビルの差入保証金の回収による収入が発生したことによるものであります。

財務活動の結果使用した資金は、2,132百万円(同998百万円増)となりました。これは、主に期末配当金が1株につき8円(前事業年度におきまして、1株につき100株の割合で株式分割を行ったため、株式分割後の金額を

記載しております) から15円へと7円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、平成26年9月11日発表の業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用)

税金費用につきましては、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,131	19,023
売掛金	4,329	4,287
有価証券	2,500	4,000
商品及び製品	754	1,133
原材料及び貯蔵品	1,503	1,670
その他	4,611	4,603
貸倒引当金	30	30
流動資産合計	31,799	34,689
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	10,307	11,018
その他(純額)	6,395	7,022
有形固定資産合計	16,702	18,040
無形固定資産		
	1,272	1,326
投資その他の資産		
差入保証金	17,362	17,527
その他	4,488	5,024
貸倒引当金	89	90
投資その他の資産合計	21,762	22,461
固定資産合計	39,737	41,828
資産合計	71,537	76,517
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,819	2,955
未払法人税等	3,314	3,589
賞与引当金	-	570
その他	13,782	14,404
流動負債合計	19,917	21,519
固定負債		
役員退職慰労引当金	26	27
資産除去債務	4,651	4,773
その他	166	143
固定負債合計	4,843	4,944
負債合計	24,760	26,463
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,548	8,558
資本剰余金	11,123	11,133
利益剰余金	26,876	30,107
株主資本合計	46,548	49,799
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	228	254
評価・換算差額等合計	228	254
純資産合計	46,777	50,053
負債純資産合計	71,537	76,517

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	63,673	70,006
売上原価	16,043	17,554
売上総利益	47,630	52,452
販売費及び一般管理費	40,254	43,582
営業利益	7,375	8,870
営業外収益		
受取利息	6	12
受取補償金	27	13
為替差益	-	5
プライベートクーポン失効益	-	14
固定資産受贈益	14	-
その他	23	19
営業外収益合計	72	65
営業外費用		
支払利息	0	-
支払補償費	2	6
為替差損	5	-
解決金	-	6
その他	13	2
営業外費用合計	22	15
経常利益	7,426	8,920
特別利益		
退移店補償金	93	5
その他	0	-
特別利益合計	94	5
特別損失		
減損損失	41	47
固定資産除却損	49	51
店舗閉鎖損失	46	46
特別損失合計	137	145
税引前四半期純利益	7,382	8,780
法人税等	3,049	3,387
四半期純利益	4,333	5,392

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	7,382	8,780
減価償却費	2,188	2,428
減損損失	41	47
引当金の増減額(は減少)	463	572
受取利息及び受取配当金	6	12
支払利息	0	-
固定資産除却損	93	89
売上債権の増減額(は増加)	819	42
たな卸資産の増減額(は増加)	593	546
仕入債務の増減額(は減少)	113	135
その他	50	1,198
小計	10,452	12,734
利息及び配当金の受取額	6	11
利息の支払額	0	-
発行保証金の金銭信託による増減額(は増加)	300	400
法人税等の支払額	2,181	3,098
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,976	9,247
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	4,132	4,044
無形固定資産の取得による支出	262	358
資産除去債務の履行による支出	152	48
差入保証金の差入による支出	405	580
差入保証金の回収による収入	749	305
その他	1	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,204	4,722
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	20	-
株式の発行による収入	32	20
配当金の支払額	1,146	2,153
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,134	2,132
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	2,637	2,392
現金及び現金同等物の期首残高	17,112	20,631
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,749	23,023

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社株式等に対する第一回公開買付けについて

スターバックス・コーポレーションの間接的な完全子会社であるSolar Japan Holdings 合同会社(以下、「公開買付者」といいます。)は、平成26年9月26日から平成26年10月27日まで、当社の普通株式ならびに平成17年6月24日開催の当社定時株主総会及び同日開催の当社取締役会の決議に基づき発行された第4回新株予約権に対する公開買付け(以下、「本公開買付け」といいます。)を行い、本公開買付けの決済開始日である平成26年10月31日付けで、当社普通株式57,000,000株(平成26年9月30日現在の当社の総株主の議決権に対する割合は、39.52%)を保有するに至りました。これにより、公開買付者は新たに当社のその他の関係会社及び主要株主である筆頭株主に該当することとなりました。これに伴い、公開買付者の直接の完全親会社であるエスシーアイ・ベンチャーズ・エス・エルは自ら及び公開買付者を通じて、エスシーアイ・ベンチャーズ・エス・エルの直接の完全親会社であるスターバックス・コーヒー・インターナショナル・インク及びスターバックス・コーヒー・インターナショナル・インクの直接の完全親会社であるスターバックス・コーポレーションは公開買付者及びエスシーアイ・ベンチャーズ・エス・エルを通じて、その所有する当社議決権数が総株主の議決権数に対する割合で50%超となったため、エスシーアイ・ベンチャーズ・エス・エル、スターバックス・コーヒー・インターナショナル・インク及びスターバックス・コーポレーションは、新たに当社の親会社に該当することとなりましたので、親会社及び主要株主の異動にかかる臨時報告書を平成26年10月28日付けで関東財務局に提出しております。

4. 補足情報

(1) 当社株式等に対する第二回公開買付けについて

当社は、平成26年9月24日開催の取締役会におきまして、平成26年11月10日を公開買付けの買付け等の期間の初日とする、スターバックス・コーポレーションの間接的な完全子会社であるSolar Japan Holdings 合同会社が実施する当社の普通株式ならびに平成17年6月24日開催の当社定時株主総会及び同日開催の当社取締役会の決議に基づき発行された第4回新株予約権(以下、「本新株予約権」といいます。)に対する公開買付け(以下、「本公開買付け」といいます。)について、当該時点においては賛同の意見を表明するとともに、当社普通株式を保有する株主が本公開買付けに応募することを推奨し、本新株予約権を保有する新株予約権者に対しては、本公開買付けにかかる本新株予約権の買付け等の価格の妥当性については相当と考えるものの、本公開買付けに応募するか否かについては新株予約権者の判断に委ねる旨の意見を表明することを決議いたしました。

なお、第一回公開買付け、本公開買付け及びその後の一連の手続きは、スターバックス・コーポレーションが当社を完全子会社化することを目的としており、当社普通株式は上場廃止となる予定であります。

第二回公開買付けの概要(平成26年9月24日時点)

- | | |
|--------------------|--|
| (1) 公開買付者 | : Solar Japan Holdings 合同会社 |
| (2) 対象者 | : スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社 |
| (3) 買付け等にかかる株券等の種類 | : 普通株式
平成17年6月24日開催の当社定時株主総会及び同日開催の当社取締役会の決議に基づき発行された第4回新株予約権 |
| (4) 買付予定株式数 | : 当社普通株式の全て(ただし、公開買付者及びエスシーアイ・ベンチャーズ・エス・エルが保有する当社普通株式を除く) |
| (5) 買付下限株式数 | : 設定されていません |
| (6) 買付け等の期間 | : 平成26年11月10日から平成26年12月22日まで |
| (7) 買付け等の価格 | : 普通株式 1株につき1,465円
第4回新株予約権 1個につき115,850円 |

(2) 生産、受注及び販売の状況

(販売実績)

当第2四半期累計期間の販売実績を品目別に示すと、次のとおりであります。

品目	当第2四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)		
	売上高(百万円)	売上構成比(%)	前事業年度比(%)
店舗販売			
ビバレッジ	54,535	77.8	110.7
フード	9,703	13.9	108.1
コーヒー豆	2,140	3.1	109.0
コーヒー器具等	1,818	2.6	91.4
店舗販売計	68,197	97.4	109.6
その他	1,809	2.6	123.5
合計	70,006	100.0	109.9

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。